

<自己評価1回目>

※黄色のセルをすべて記入してください。

整理番号

2025P-

349

補助事業者名

社会福祉法人大樹会

別紙4 JKA補助事業 2025年度 事前計画／自己評価書(4／5)

5. 補助事業の自己評価

(a) 個別項目評価

作成日

2026

年

1

月

9

日

作成者

名 嘉村なるみ

●個別の評価項目について、事前計画／自己評価書(3/5①②) 4. 事前計画 に対する達成状況等を把握し、分析・評価してください。

(1) 受益者 (ニーズ)	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点	
(2) 事業内容	特別装備なし 移送車4 (7人以上10人以下のワゴンタイプ) 車種:HONDAフリード 排気量:1500cc 用途:利用者送迎業務				
	事業の新規性または継続の必要性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)		採点	
	事業の発展性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)		採点	
	実施計画・体制	事前計画で予定していた車両は、自動車メーカーから社会情勢的に3月までの納車が厳しいとの事で、車両を変更するに至ったが、その後は予定より早く納車され、11月より送迎用車両として毎日運行している。		4	
(3) 達成目標	事業の実施結果	達成値 2025年10月30日納車	達成状況 100%	具体的内容 経年劣化で、廃車予定の車輛との入替。 計画より早く納車された為、11月より送迎用車両として使用。	4
	事業の成果・波及	達成値 (1)10人(日) (2)2時間(日) (3)22日(月)	達成状況 (1)50% (2)150% (3)100%	具体的内容 利用者数:1日5人。当初入替予定だった車両でなく、長距離コースの車両との入替となった為、目標値は50%と計画を下回った。今後の新規利用者に期待したい。 稼働時間:1日3時間 稼働日:月～金(週5日)。施設外行事等でも利用予定。	4
(4) 情報発信	事業の実施結果	達成値 (1)2回 (2)1回 (3)1回	達成状況 100%	具体的内容 (1) ホームページへ掲載 (2) お知らせを施設内へ掲示 (3) 利用者様へお知らせ配布	4
	競輪・オートレース補助金による事業であること	達成値 (1)1回 (2)1回 (3)1回	達成状況 100%	具体的内容 本事業がJKA補助事業である事をホームページ・掲示物・お知らせに明示。	4
(5) 自己評価の体制	当初計画していたメンバーとは違う構成になったが、評価会議を行うことが出来た。 会議に参加は出来なかったが、利用者さんからは聞き取りで意見をいただいた。			4	

(b) 総合評価

総合
評価点

4

●(a) 個別項目の評価から実施状況等を振り返り、事業全体を評価してください。

(1) 事前計画 (2/5)記載の「補助事業の直接的な目的」を踏まえた、事業全体についての意見・所感	・長距離送迎ルートにて運用開始。これまでの車両は長年使用していた事もあり、送迎中の不具合や乗り心地も悪い等、職員にはかなり負担となっていた。新しい車両の導入により、運転への不安が解消された。 ・これまでの車両とくらべ室内も広く、送迎中の利用者様に不測の事態(てんかん発作等)が起こった際の介助もとてもしやすかったとの報告もあり、職員の介助負担軽減にもつながっている。
(2) 優れている点・課題、改善すべき点	・車両の変更はあったが、事前計画よりも前に車両が納品され、事業を実施することができた。 ・車両完了日から、ホームページ等に情報発信を行うまでに時間が空いてしまった。
(3) その他、アピールしたい点、是非知ってもらいたい点	JKA補助金で購入した当車両は、カラフルでとても目を引く。長距離コースでの導入で、送迎中はたくさんの方々の目にとまる事が予想される。周知活動にとても役立っている。

【福祉車両・就労支援車両】

整理番号	2025P-	349	補助事業者名	社会福祉法人大樹会
------	--------	-----	--------	-----------

別紙 JKA補助事業 2025年度 事前計画／自己評価書(5/5)

(c) 事業の促進・阻害要因の自己分析

- 事業の目標達成を促進した、あるいは阻害した要因について、「要因分類」(1)～(15)の「促進」または「阻害」欄に「＊」を記し、要因の内容を a 欄に、阻害要因への対応あるいは今後この分析結果をどう活かすかを b 欄に、それぞれの要因分類の番号(1)～(15)を付して、具体的にご記入ください。
- 促進または阻害要因が無い場合には、(16) の欄に「＊」を記してください。

事業の促進・阻害要因の自己分析					
	促進	阻害	要因分類	a. 促進または阻害要因の具体的な内容	b. 対応、今後この分析結果をどう活かすか。
内部要因		＊	(1) 経費	計画時、希望車両の情報を販売店へ確認出来ておらず、販売生産台数や最終価格等詳細を把握できていなかった。その為、車両変更や法人負担額増へつながった。	補助金申請前に、希望車両の状況や価格を販売店に確認する。
		＊	(2) 実施体制 (人員、関係機関の協力等の確保)	担当者が補助金交付決定前に退職となり、引き継ぎがうまくできていなかった。	業務引継ぎ事項は、余裕をもって確認する。
			(3) 資材調達 (事業実施に必要な物資等の確保)		
			(4) 実施期間 (事業終了までに要する期間)		
			(5) 事業運営のノウハウ (進捗管理、資金管理等)		
			(6) 設計仕様の 変更(主に建築)		
			(7) その他		
外部要因			(8) 受益者の 規模・ニーズ		
			(9) 実施体制以外の 団体等の協力・支援		
			(10) 関連法制度 の変更		
			(11) 利害関係者 (受益者以外)の 要望への対応		
			(12) 災害の発生 (地震、洪水等)		
			(13) 同様の技術 開発		
			(14) 競合するサー ビス・事業の出現		
			(15) その他		
			(16) 特になし		